

1 総括についての評価

コロナ禍において行事の見直し・精選を余儀なくされ、様々なことが制限されていた中で全ての項目で目標を達成できたことは評価できる。内容についても、概ね了解である。登園の時間は短い、親子で1対1で話すことができる大事な時間だと言われたことがある。忙しい人も増えていると思うが、大切にしてほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- 非常災害時に対する避難訓練は十分できていたと思う。幼小交流や地域の方との交流は十分であったと思う。
- 今年度はコロナ禍で大変だったと思う。子どもたちが楽しみにしている行事がほとんどできなかったと思う。その中でも工夫して可能なことを進めてこられたと思う。
- 全ての取組内容についてAの評価であり、目標を上回って達成したことは評価できる。次年度も発達段階に応じた安全教育や交流を継続して取組を進めてほしい。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- 子ども一人一人に合わせた育成は十分できていたと思う。
- 併設園で広いグラウンドを使用することができるのはメリットの一つであると思う。
- 概ね目標を達成できており評価できる。食に関しては、1日3回の食事のうちの2回が家庭で行われていることから、各家庭の協力が不可欠である。啓発を続けてほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

引き続き、よりよい幼稚園運営を期待している。また、小学校・中学校・保育所・地域といった、さまざまな年齢の人たちと関わり、交流を深めてほしい。